

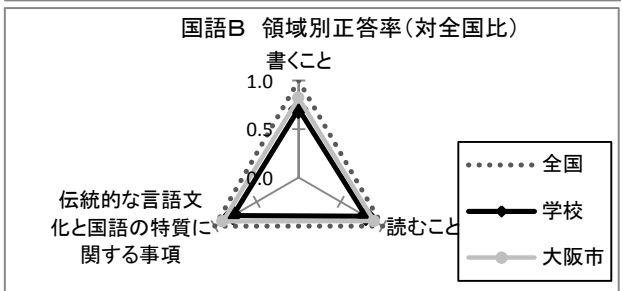
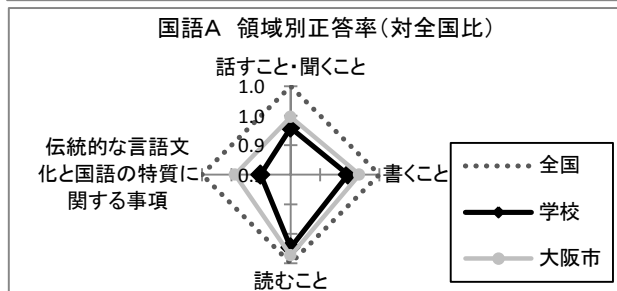
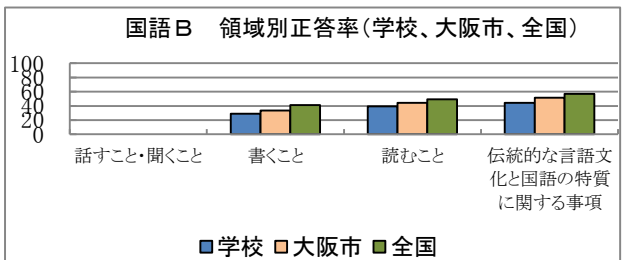
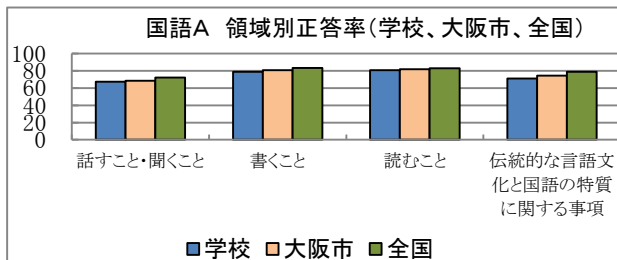
【国語】

結果の概要

生徒質問紙で「国語が好き」な生徒と「国語の授業の内容はよく分かる」生徒の割合は全国平均を上回っている。「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」生徒と「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」生徒の割合は全国平均を大きく下回っている。正答率はA問題・B問題ともに全領域において全国・大阪市を下回った。

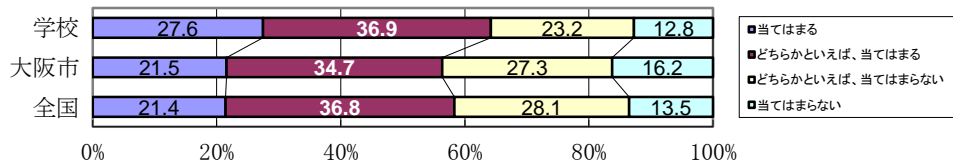
A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	67.2	68.5	72.3
	書くこと	6	79.0	80.6	83.4
	読むこと	5	80.7	81.8	82.9
	伝統的な言語文化 と国語の特質 に関する事項	17	70.9	74.3	78.7

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	0	—	—	—
	書くこと	3	28.9	33.6	41.0
	読むこと	8	39.3	44.1	49.2
	伝統的な言語文化 と国語の特質 に関する事項	4	44.3	51.3	56.8

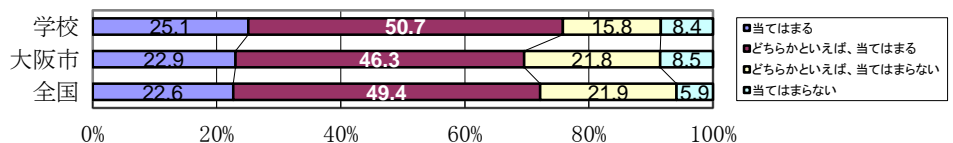


国語に関する「生徒質問紙」

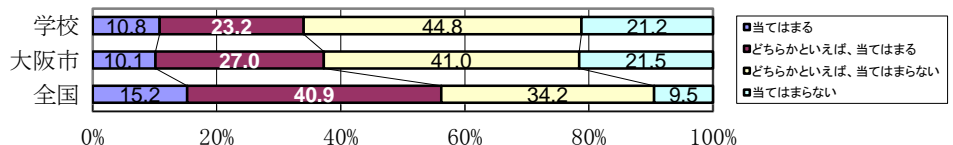
50
国語の勉強は好きですか



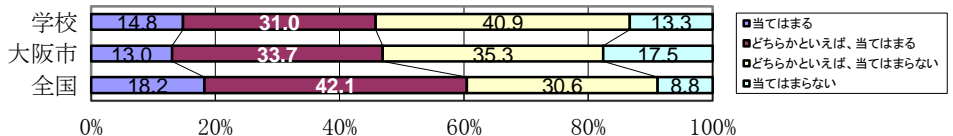
52
国語の授業の内容はよく分かりますか



55
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



57
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

A問題では、心情が相手に伝わるように描写を工夫したり、登場人物の心情や行動に注意して読み内容を理解する問題では全国平均を上回ったが、漢字の読み書きと歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す設問や、古典と昔話を対照させて内容をとらえる設問の正答率が特に低かった。学習した内容が定着していないと考えられる。B問題はすべての設問で全国平均を下回り、特に自分の考えを明確に伝わるように書くことができていない。

今後の取組

授業において言語活動の充実を図り、根拠を明確にしてわかりやすく説明したり、自分の考えを具体的に書いたりする力を育む指導が必要です。また、家庭学習用教材等を活用し、語句の定着や漢字の習得を図ります。朝の読書タイムを継続し、読書習慣の形成を図ります。